

日本共産党港区議会議員
熊田ちづ子

2002年1月
NO.36

- 発行 -
日本共産党港区議員団
TEL: 3578-2111 (2945)
連絡先: 港区東麻布
2 - 3 - 7
TEL: 3583-1402

無料生活相談

毎月十二日 夜六時

飯倉福祉会館を予定しています

「ご連絡をください」

みなさんと共産党の運動で都バス路線一部が延伸

十一月末、都交通局からくぼた光前都議に「区民要望が強くある路線の確保を検討している」ことを伝えてきました。

それは、品川車庫前～品川駅～浜松町～東京タワー（浜95）の路線を赤羽橋～中の橋～東京タワー間を延伸するものです。

くぼた都議と党港区議団は、都バス路線廃止後も署名運動を進めたり、都議会、区議会で機会ある毎に、都バスの復活、コミュニティバスの運行などを質問してきました。

港区老人クラブ連合会も「廃止された都バス路線の復活を求める陳情」を都に提出しました。

区民のみなさんと日本共産党の運動が、都バス路線の復活を实らせたものです。しかし、「区民の生活の足となるバス路線」という要望からすれば、第一歩です。

日本共産党は、高齢者の方も障害のある方も、だれもが安心して外出できるようなバス路線確保・復活に向け、「バス路線確保を求める請願」

署名を行っています。
引き続き一緒に、いっそう大きな運動にしていきましょう。

保険料の軽減の受付が始まります

介護保険料・利用料の軽減のための受付が十一日から開始されます。

六五歳以上の保険料は昨年十月から二倍になり負担が増大しています。

区は議会と区民の声におかれて軽減策を実施することになりました。今回軽減を受けられる方は次の要件に当てはまる方です。

- 保険料負担が第二段階の人
（現在の保険料月額二二九〇円）
（世帯全員の区民税が非課税）
- 世帯の年間収入が概ね次の方

入 大手不動産の超高級マンション
建設への補助金支出など。

福祉の増進を基本とする自治体の役割を放棄した区政を指摘し、区民が主人公の区政を目指していくことを表明。決算4案については認定しませんでした。

裏面

教材費などの予算を九十五年度水準にもどせ

党区議団は、将来の日本を担う子どもへの教育予算は「削減すべきではない」と、機会あることに要求してきました。決算の総括質問で、せめて九十五年度（平成七年度）水準までもどすよう要求しました。

財政難を口実に教育予算も大幅に削減されました。その結果、二〇〇一年度予算の小学校の教材事務

二〇〇〇年度の決算委員会は、十一月二十八日から七か間の日程で行われました。

党議員団はみなさんから日頃寄せられている要望を実現するため各議員が質問で取り上げ、奮闘しました。

二〇〇〇年度の特別区税は、前年度と比較して二三億七千万円の増収がありました。しかし、この不況の下で、福祉、教育、中小企業対策などを削減し区民への負担おしつけの区政、弱者切り捨ての区政が審議を通じて明らかになりました。

その一方、森ビルなどの大企業が進める市街地再開発事業への補助金支出、十番駐車場への莫大な税金投

東京湾華火大会の申込みは往復八ガキにもどせ

み 危険な箱型ブランコを安全なものに

裏面

教材費などの予算を九十五年度水準にもどせ

党区議団は、将来の日本を担う子どもへの教育予算は「削減すべきではない」と、機会あることに要求してきました。決算の総括質問で、せめて九十五年度（平成七年度）水準までもどすよう要求しました。

財政難を口実に教育予算も大幅に削減されてきました。その結果、二〇〇一年度予算の小学校の教材事務用品費は九十五年度（平成七年度）比で五四・一七％、備品整備費は三〇・六％にも削減されています。このため、授業にも支障が出るなど、学校現場から改善の強い要求が出ています。

区民税収入を前年度と比べると、十二度・二十二億三千三百万円、十三度・二十二億五千九百万円と順調に伸びており、学校予算の復活は十分に可能です。

具体的な数字と実態を示しての質問に対し、区長は「教育委員会関係の予算編成にあたりましては、これまでも教育委員会の意見を伺った上で編成してきており、今後とも、適時適切な予算編成を行ってまいります。」と答弁、教育長は「必要な予算を要望し、（区長部局と）十分な協議を行ってきた」と答弁、教育委員会として、必要な予算を要求していない実態が明らかとなりました。教育に責任を負うべき教育委員会がしっかりと予算要求もしていない態度を厳しく批判し、これからの港区を担う子ども達の教育予算はしっかりと確保するよう要求しました。（小学校の運営経費の表を入れる）

全国で箱型ブランコによる事故が相次いでいることから、「重大な事故が発生してからでは遅い、撤去、交換も含め、早急に安全対策を取るよう」質問しました。

区内の公園などには二五カ所に箱型ブランコがあり、イスの背に乗って大きく揺らさないようネットを張るなどの対策をしていますが、ごく一部なため改善が急がれています。私立幼稚園PTA連合会による公園調査でも、箱型ブランコの危険性が指摘されています。

今後区は「危険度の高いものは、安全なタイプに交換するなど、安全対策を行うことを表明しました。

「値上げ」条例案を断念

区民の声が反映

原田区長は、二〇〇一年第四回定例会に、区民センター、福祉会館などの利用料、区立幼稚園の保育料などを三十％値上げする十六件の条例案の提出を断念しました。

議会七党派の内日本共産党を含む六党派の幹事長が十二月八日に「使用料などの改定につきましては、時期を含めて大変厳しいものがあり、改定時期につきましては十分配慮」と求める要請書を区長に提出し、区長はその場で「当面提出は差し控えたい」とのべ、全ての「値上げ条例案」は提出されませんでした。

しかし、決算委員会では与党派から、「値上げ」を催促する質問が出され、区は「利用料などを三年毎後に見直す方針には変わりはない」と答弁するなど、改めて提出する意向を示しました。区施設などの「利用料など値上げするな」の声をいっそう大きくしていきましょう。

党区議団は、東京湾華火大会に入場整理券を従来の往復八ガキ方式にもどすよう、代表質問で取り上げ、決算審議でも改善を求めました。

二〇〇一年花火大会は、区商連に費用負担を転嫁したため、区民にも商店にも混乱を持ち込み、区民から「財団」に二〇〇件を超す抗議が寄せられています。区にも同様の意見も来ています。

区は「（往復八ガキ方式にもどすよう）財団と協議している」ことを明らかにしました。また、財団の評議員会でも「（往復八ガキ方式に）もどすよう区と協議している」ことを表明しました。

保育園の運動会は土・日に開催を

保育園の運動会は、平日に開催されています。保護者は、仕事もかなり忙しくなっており、子どもの風邪などで急に休むことも多く、平日の運動会ではなかなか参加できない。

「土・日に開催してほしい」と、強い要望がよせられています。決算審議で父母などの声も紹介し、土、日の開催を要求しました。

保育課長は、「土日の開催の要望があることは承知している。その方向で検討していく」と答えました。

二〇〇〇年決算特別委員会開かれる
熊田ちづ子が決算委員長